佐渡市高校生議会 振り返り（令和3～８年度）

資料2

１．市内高校等の参加状況

年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
参加校	羽茂高等学校 佐渡総合高等学校	羽茂高等学校 佐渡中等教育学校 佐渡総合高等学校 羽茂高等学校	羽茂高等学校 佐渡中等教育学校 佐渡高等学校 佐渡総合高等学校 明誠高等学校	羽茂高等学校 佐渡中等教育学校 佐渡高等学校 佐渡総合高等学校 明誠高等学校	羽茂高等学校 佐渡中等教育学校 佐渡高等学校 佐渡総合高等学校 明誠高等学校	羽茂高等学校 佐渡中等教育学校 佐渡高等学校 佐渡総合高等学校 明誠高等学校
参加人数	２３名	１４名	１７名	１４名	１４名	１３名

２．提案内容の傾向と主要テーマについて（令和3～8年度の全体像）

①【公共交通・移動手段の確保】
高校生の通学・日常生活における主要移動手段について、バス減便対策、デマンド交通、ライドシェア等の導入提案。二次交通と路線バスとの連動などについて提案。

②【若者の定住・就労・子育て支援】
給食費補助、出産給付、若者の雇用創出・賃上げ・インキュベーションセンター整備等への関心。
「将来的にも佐渡に住み続けたい・戻ってきたい」と思える環境づくりを提案。

③【世界遺産と持続可能な環境保全】
世界遺産登録に伴うゴミ対策、サステナブルツーリズム、再エネ導入、景観保全活動。
「観光振興と環境保全のバランスをとる持続可能な島づくり」の意識した提案。

３．6年間での提案・質問の変化について

【課題】「身近な困りごと」→「島全体のシステム課題」への進化（R3・R4 → R5・R6）

・R3～R4：身近な不快感や願望に基づく直接的提案が中心。
・R5～R6：運転手不足や維持コストの背景を踏まえ、スクールバス活用等の「仕組み」の提案。

【手法】「単発のイベント」→「テクノロジー・財源」を意識した提案（R3・R4 → R7）

・R3～R4：ポスター掲示や挨拶運動など、市民の意識啓発や啓蒙活動が中心。
・R7　　：VR/AR活用などのDXに加え、「入島税（法定外税）」による持続可能な財源への言及。

【姿勢】「行政への要望」→「若者の主体的参画・関係人口創出」（R3 → R8）

・R3 ：「市に〇〇してほしい」という行政＝サービス提供者、自身＝受給者の構図。
・R8 ：賃金格差是正や、高校生と行政が協議する仕組み作りなど、共にまちづくりに参画する姿勢へ。

【各年度からの抜粋】

年度	質問・提案	回答	総合計画との関連項目
R3	ポイ捨て防止の啓発（テレビ・新聞・ポスター等）、挨拶や親切な対応による暮らしやすいまちづくりについての見解を質問	監視員配置や一斉清掃（「佐渡市一斉清掃プラス」）の実施、啓発ポスター募集。市役所内でも朝の挨拶徹底・丁寧な対応を推し進めている。	1－11「生活環境の整備」 5－1「市民参画と協働による地域づくりの推進」
R4	小中学校の給食費無償化、農家と行政が連携した料理教室開催、規格外野菜の活用推進について提案	全額無償化は財源上困難だが主食費の補助等を実施。学校給食での地産地消率30％を目指し、規格外野菜の活用や食育プログラム・公民館活動での活用を支援中。	2－4「子育て支援の充実」 4－1「農業の振興」 4－6「産業連携・販売戦略の推進」
R5	高齢者や高校生の通学・買物等の交通確保（路線減便対策）、大雪等による災害（倒木・停電・断水）への対応、支援要請に関する意見と質問	割引制度（学生フリー定期・70歳以上1回200円等）や佐渡MaaS検討会による公共交通計画策定・デマンド交通連携を推進。伐採や停電防止対策、電気自動車活用避難所への電源供給体制、協定の活用等を推進。	1－1「防災・減災機能の強化」 1－4「交通体系の充実」 1－7「下水道施設の整備」 1－10「脱炭素・持続可能社会の推進」
R6	バス路線減便・運賃値上げへの対応（予約運行改善、自家用車・スクールバス活用等）、運転手不足対策（大型二種免許取得補助）、フェリー運行計画と連動したダイヤ維持などを質問。	無料コミュニティバス運行や実態調査を実施し「佐渡MaaS検討会」を設置。大型二種免許や他分野の資格取得補助を継続するほか、タクシー不足地域での「佐渡版ライドシェア」等の実証・検討を推進。	1－4「交通体系の充実」 4－7「雇用機会・就労環境の充実」 5－1「市民参画と協働による地域づくりの推進」
R7	世界遺産登録に伴う観光客増加へのゴミ対策（減量化、海岸清掃、海洋プラスチック汚染対策）、入島税の徴収検討状況や環境保全への活用方針へ質問。	ボランティア清掃や「ボランティア証明書」のデジタル発行等の啓発、エコツアー・サステナブルツーリズムの推進。入島税やゴミ箱設置は検討を重ねつつ、マイバッグ持参率100％を目指し啓発を継続。	1－9「自然環境の保全」 1－11「生活環境の整備」 3－5「文化振興の推進」 4－5「観光の振興」
R8	就業・所得支援の取り組み（他自治体との平均賃金格差解消）、保育・教育負担のさらなる無償化・軽減、路線バス増便やレンタカー活用等による島内交通の活性化を提案。	個人給与への直接補助ではなく企業の経済活動活性化と賃上げ支援、インキュベーションセンター整備で若い世代の雇用確保を推進。地域交通・レンタカー・佐渡版ライドシェア・循環バスの実証等を実施。「出産わくわく応援ギフト」、「子どもが元気な佐渡が島事業出産祝い金」の支給、保育料無償化拡大や医療費助成、学校給食費負担軽減を実施。	2－4「子育て支援の充実」 4－7「雇用機会・就労環境の充実」 4－8「移住定住の促進」